

2022 年度
神戸大学大学院経営学研究科（専門大学院）

「MBA ゼミ」シラバス

授業科目 MBA ゼミ（社会人大学院科目）
担当教官 三品和広
開講日 9月17日、10月22日、12月24日、2月18日、4月以降は指定土曜日
8時50分～18時30分
教室 Zoom（状況が許せば六甲台キャンパス）

I. 授業のテーマと目標

ゼミの到達目標は、自社の経営陣、もしくは上司を唸らせるような修士論文の執筆にあります。アカデミックな審査員を意識して書く修士論文より、自社の経営に関する建議書を書いたほうが皆さんの職業人生は豊かになると思います。

私のゼミで扱うテーマは、経営戦略です。平たく言えば、自社、もしくは自社内の特定事業の長期的な発展を、どのように構想するのか、そのために何をどう変えるべきなのか、変えるために如何なる手を打っていくのか、想定と異なる展開に入ったときに如何に対処するのか、そのあたりを詰めに詰めていくこととなります。観念論では説得につながりにくいので、私のゼミでは戦略の5W1Hにこだわります。

II. 教科書・参考書

観念論を排して実戦論に限定すると、以下が基本リストになります。他の参考文献はゼミのなかで適宜紹介します。

- Porter, E. Michael, “Competitive Strategy: Techniques for Analyzing Industries and Competitors.” New York: Free Press, 1980.
- Porter, E. Michael, “Competitive Advantage: Creating and Sustaining Superior Performance.” New York: Free Press, 1985.
- Mintzberg, Henry, “The Rise and Fall of Strategic Planning.” New York: Prentice Hall, 1994.
- Ghemawat, Pankaj, “Strategy and the Business Landscape: Core Concepts” Upper Saddle River, NJ: Prentice Hall, 2001.
- Mayo, J. Anthony and Nitin Nohria, “In Their Time: The Greatest Business Leaders of the Twentieth Century,” Boston, MA: Harvard Business School Publishing, 2005.
- 三品和広『戦略暴走』東洋経済新報社、2010年
- 三品和広『経営戦略の実戦1：高収益事業の創り方』東洋経済新報社、2015年
- 三品和広『経営戦略の実戦3：市場首位の目指し方』東洋経済新報社、2018年

論文の書き方という面においては、以下が基本リストになります。

- 三品和広『ハンドブック経営学』第1章、ミネルヴァ書房、2011年
- 三品和広・坂口穂波『MBA 修士論文のあるべき姿』季刊ビジネス・インサイト、Vol.25No.3（2017）

III. 成績評価の方法

成績は修士論文の出来映えで決めます。

IV. 講義のスケジュール

M2 の建議書指導が三巡したので、反省を取り込んでシラバスを改訂しました。なお、二巡目と三巡目はオンライン主体で支障らしい支障は出ていません。

[01] 9月17日1限 マインドセット（1）

講義内容： 修士論文を書き終えた M2 ゼミ生の体験と反省を共有します。
必読文献： 三品和広・坂口穂波『MBA 修士論文のあるべき姿』季刊ビジネス・インサイト、Vol.25No.3（2017）
事前課題： 自分の修士論文に関する構想を張り巡らせておいてください。

[02] 9月17日2限 マインドセット（2）

講義内容： 1限の続きを行います。

[03] 9月18日3限 M2修論発表会

講義内容： 全ゼミ共通のセッションに参加してください。

[04] 9月17日4限 M2修論発表会

講義内容： 全ゼミ共通のセッションに参加してください。

[05] 9月17日5限 M2修論発表会

講義内容： 全ゼミ共通のセッションに参加してください。

[06] 10月22日1限 経営戦略論（1）

講義内容： 建議の前提となる経営戦略の理解を深めます。この時間は日本企業の戦略形成にまつわる欠陥を詳説します。
必読文献： 三品和広『戦略不全の論理』東洋経済新報社、2004年
事前課題： 必読文献をスキムしておいてください。

[07] 10月22日2限 経営戦略論（2）

講義内容： この時間は事業立地概念が生まれた背景を詳説します。
必読文献： 三品和広『戦略不全の因果』東洋経済新報社、2007年
事前課題： 必読文献をスキムしておいてください。

[08] 10月22日3限 経営戦略論（3）

講義内容： この時間は日本企業の戦略形成にまつわる欠陥を1限とは異なる角度から詳説します。
必読文献： 三品和広『戦略暴走』、東洋経済新報社、2010年
事前課題： 必読文献の序章、ケース001、終章を熟読しておいてください。

[09] 10月22日4限 自社分析(1)

講義内容: この時間はゼミ生の分析に耳を傾けます。

必読文献: 上記3冊

事前課題: 各自15分のプレゼンを用意しておいてください。テーマは3限までの内容に照らしたとき自社がどう見えるかです。

[10] 10月22日5限 自社分析(2)

講義内容: この時間はゼミ生の分析に耳を傾けます。

必読文献: 上記3冊

事前課題: 各自15分のプレゼンを用意しておいてください。テーマは3限までの内容に照らしたとき自社がどう見えるかです。

[11] 12月24日1限 経営戦略論(4)

講義内容: この時間は高収益事業を創り上げてきた日本企業の事業立地戦略を詳説します。

必読文献: 三品和広『経営戦略の実戦1: 高収益事業の創り方』東洋経済新報社、2015年

事前課題: 必読文献の序章、各章解題部、終章を読んでおいてください。

[12] 12月24日2限 経営戦略論(5)

講義内容: この時間は高収益事業を創り上げてきた日本企業の構えの戦略を詳説します。

必読文献: 三品和広『経営戦略の実戦3: 市場首位の目指し方』東洋経済新報社、2015年

事前課題: 必読文献の序章、各章解題部、終章を読んでおいてください。

[13] 12月24日3限 経営戦略論(6)

講義内容: この時間は占有率の逆転現象を詳説します。

必読文献: 三品和広『経営戦略の実戦2: 企業成長の仕込み方』東洋経済新報社、2022年

事前課題: 必読文献の序章、各章解題部、終章を読んでおいてください。

[14] 12月24日4限 自社分析(3)

講義内容: この時間はゼミ生の分析に耳を傾けます。

必読文献: 上記3冊

事前課題: 各自15分のプレゼンを用意しておいてください。テーマは自社および担当事業の立地と構えをどう評価するかです。

[15] 12月24日5限 自社分析(4)

講義内容: この時間はゼミ生の分析に耳を傾けます。

必読文献: 上記3冊

事前課題: 各自15分のプレゼンを用意しておいてください。テーマは自社および担

当事業の立地と構えをどう評価するかです。

[16] 2月18日1限 時機（1）

- 講義内容： 時機の捕捉は戦略を仕掛けるうえでの前提になります。この時間はマクロ次元で時勢の読み方を解説します。
- 必読文献： 三品和広・山口重樹『デジタルエコノミーと経営の未来』東洋経済新報社、2019年
- 必読文献： 三品和広・山口重樹『信頼とデジタル』ダイヤモンド社、2020年
- 事前課題： 指定文献に登場するケースを可能な限り数多く、深く読み込んでおいてください。それぞれのケースにおける仕掛け時点の時代背景は、自分で掘り下げてみることをお勧めします。

[17] 2月18日2限 時機（2）

- 講義内容： 時機の捕捉は戦略を仕掛けるうえでの前提になります。この時間はミディアム次元で時流の捉え方を説明します。
- 必読文献： 三品和広『経営戦略の実戦1：高収益事業の創り方』東洋経済新報社、2015年
- 参考文献： 三品和広『経営戦略の実戦3：市場首位の目指し方』東洋経済新報社、2018年
- 必読文献： 三品和広・山口重樹『デジタルエコノミーと経営の未来』東洋経済新報社、2019年
- 事前課題： 指定文献に登場するケースを可能な限り数多く、深く読み込んでおいてください。それぞれのケースにおける仕掛け時点の時代背景は、自分で掘り下げてみることをお勧めします。

[18] 2月18日3限 時機（3）

- 講義内容： 時機の捕捉は戦略を仕掛けるうえでの前提になります。この時間はミクロ次元で時機の掴み方を説明します。
- 必読文献： 三品和広『センサーネット構想』東洋経済新報社、2016年
- 参考文献： 三品和広『どうする？日本企業』東洋経済新報社、2011年
- 事前課題： 指定文献に登場する事例を深く読み込んでおいてください。

[19] 2月18日4限 自社分析（5）

- 講義内容： 3限の続きを行います。
- 事前課題： 各自20分のプレゼンを用意しておいてください。テーマは自社および担当事業が直面しつつある環境変化です。可能な限りマクロの一般論を回避し、業界や市場に固有のミクロの変化に着目することをお勧めします。

[20] 2月18日5限 自社分析（6）

- 講義内容： 4限の続きを行います。

なお、2月18日には希望副査を尋ねます。そのつもりでいてください。

4月以降は個別面談方式に切り替えて建議書の作成に集中しますが、各日の冒頭に全員集合の機会を設けて、共通留意事項を伝達します。2月18日には5限の終わりに次回に向けたインスタクションをアナウンスします。